

# 主に教員の方へ

## 新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開しています。このプログラムは、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得られるよう、標準化されています。

- 徳島大学 授業設計ワークショップ(通い型)
- 香川大学 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」(合宿)
- 愛媛大学 授業デザインワークショップ(合宿または通い型年2回開催)
- 高知大学 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ(通い型)



授業準備ワークショップ

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 理論のみでなく実践することで能動的な学習を促進することの難しさを実感するとともに、授業を設計していく楽しさも感じた。
- グループワークでは人間関係作りが大切だと感じたのでアイスブレイクを取り入れ、シラバスをもう一度考え直してみようと思った。

## FD担当者研修

FD担当者研修は、各大学におけるFDの企画や実施の担当者を対象とした研修です。各加盟校において、それぞれの大学の文脈に沿ったFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。今年度はSPODフォーラム2019で実施します。

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 組織的で具体的な取り組み(成功例)を聞くことができ、いろいろなヒントをもらえた。その場で新しいアイデアをつくることができた。
- 実例を紹介していただいたことで、自大学に活かすことのできる引き出しが増えた。
- 全体的に、FDというものを見直す機会となった。



## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し、教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」(教育業績記録)作成に関するワークショップを実施・公開しています。

- ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ
- アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ
- ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ(隔年開講)

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 自分自身が普段考えていることを視覚化できて、非常に良い経験ができた。
- 「どのような学びを提供するのか」や「何のために授業をするか」だけでなく、「そもそもなぜ大学で教える必要があるのか」まで考える機会があり、今後の授業や教育の基本的理念を意識するきっかけになった。



## SPOD-FDプログラムのレベルについて

国立教育政策研究所が開発したFDマップ(FDプログラムを体系的に整理できる枠組(右図参照))を利用して、SPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「マイクロ・レベル(授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル(カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル(組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。縦軸はFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、4つのフェーズに分かれています。各プログラムのレベルとフェーズは、本紙のプログラム一覧に提示しています。

レベル	マイクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・ プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・ 教育制度
フェーズ			
I. 導入 (気づく・わかる)			
II. 基本 (実践できる)			
III. 応用 (開発・報告できる)			
IV. 支援 (教えられる)			

図:FDマップのフレームワーク  
参考・引用文献:国立教育政策研究所 FDe研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所,2009

# 主に職員の方へ

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国4県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- レベルⅠ 第1回(新任職員)・レベルⅠ 第2回(係員相当級の職員)
- レベルⅡ(係長・主任相当級の職員)
- レベルⅢ(課長・課長補佐相当級の職員)

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 多くの人と交流できた。仕事で役に立つスキルについて、よく理解できた。(レベルⅠ第1回)
- 実践的で業務に活かせる内容であった。(レベルⅠ第2回)
- 業務の中では学ぶ機会のない各研修内容について、全員で意見交換をすることで新たな気付きが得られ、とても参考になった。(レベルⅡ)
- 様々な課題に対応する能力の必要性を認識することができた。(レベルⅢ)



レベルⅠ 第1回(新任職員研修)

## 次世代リーダー養成ゼミナール

次世代リーダー養成ゼミナールのしおりはこちら▶

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/chosa/jisedaishiori/>



次世代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「知識」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する約120時間の総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、2年間で8回(1回あたり2~3日間)の日程で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されています。受講者は所属機関の長から推薦を受けた少数精鋭の職員です。

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 同期生・先輩・後輩がお互いに影響し合いながら2年間を一つのサイクルとして活動することにより、単発の研修では決して築くことのできない受講生同士のつながりが持てた。
- 講師の先生方から「よかった点」「改善すべき点」を理由とともに明確に伝えていただけたことが、今後の自分にとってプラスになったと感じている。
- 自分とは立場の異なる職員との縁ができ、刺激になった。2年間の厳しい課程を修了することで、リーダーとしての知識や経験が身に付いたとともに、達成できたことが自信にもなった。



## 職員のための講師養成講座

SPODでは、各大学等のSDの自立的運営を目指しており、受講者が研修講師として必要な心構え、知識、技法を身に付け、将来のSDプログラム講師を務めることができる研修プログラムを提供しています。今年度はSPODフォーラム2019で実施します。

【参加者の声】昨年度アンケートより

- 短い時間でも、プレゼン方法によって伝えたいことがしっかりと伝わるのが分かり、改めてプレゼンがいかに大切であるかを認識した。また、手の位置、間の取り方など、細やかな要素も大切であることを理解した。
- 改めて自分を見つめ直す機会になった。苦手意識を克服するための知識・スキルを知ることができた。



## SPOD-SDCについて

### <SPOD-SDCの資格認定基準>

1. SPOD-SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

※認定者:25名(2019.3.31 時点)

### SPOD-SDCとは?

SDコーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールの修了者等で、資格認定基準を満たし、諸手続きを経て審査に合格した者には、SPOD-SDC資格が認定されます。SPOD-SDCの認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、新任職員研修やSPODフォーラムなどの研修講師としても活躍しています。

# 各プログラムの詳細内容は SPODホームページをご覧ください

URLはこちら ▶  
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



## ① イベント検索条件を入力

フリーワードは  
タイトル・  
記事本文が  
検索対象です

②「検索する」を  
クリック

検索結果が  
一覧表示されます

トップページには当月の  
イベント情報を掲載

## ④ 各プログラム詳細ページ

⑤印刷する際は  
ここをクリック

「年間一覧」を  
クリックすると  
当年度の全イベントが  
一覧表示されます

「月別カレンダー」を  
クリックすると  
当年度の全イベントが  
カレンダー表示されます

## 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)とは

2008年度に設立し、四国地区の国公私立大学・短期大学(四国地区に一部の学部等を置く大学を含む)及び高等専門学校によって構成され、加盟校の共同事業として運営しています。本ネットワークでは、質の高い教育を提供するため、4県に位置する「ネットワークコア校」を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)に努めています。資源を共有することで、加盟校は、単独の組織では成し得なかったプログラムやサービスを楽しむことができます。ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する、実践の力量を持った「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出することを目指しています。メインイベントの一つであるSPODフォーラムは2009年から毎年実施しており、近年では四国の外からも多くの方にご参加いただいています。

SPOD案内チラシはこちら ▶ [https://www.spod.ehime-u.ac.jp/pdf/spod\\_chirashi.pdf](https://www.spod.ehime-u.ac.jp/pdf/spod_chirashi.pdf)



SPODは2018年に  
設立10周年を迎えました。

SPODでは月1回程度メールマガジンを配信しています。登録はホームページの登録フォームで随時受け付けています。

## ■ 各種研修プログラムのお申し込み方法について

### 【直接申込み可能なもの】

プログラム一覧の「直接申込」に●があるものは、下記①～⑥の内容を**開催校へメール**でお申し込みください。

[①氏名 ②所属機関 ③所属学部、所属部署など ④職種(教員、職員等) ⑤プログラム番号 ⑥プログラム名]

※各プログラムには受講定員があります。そのため、申し込み受付は先着順とさせていただきます。

※SPODフォーラムは、受付期間中にSPODホームページに設置する申込フォームより各自お申し込みください。

### 【各加盟校のSPOD担当者が取りまとめて申し込むもの】

プログラム一覧の「直接申込」に●がないものは、SPOD事務局から各加盟校SPOD担当者に申込者の取りまとめを依頼予定のプログラムです。各校からの案内に基づき、お申し込みください。また、自大学で開催するプログラムは、自大学からの案内に基づき申し込みを行ってください。なお、「直接申込」のプログラムでもSPOD担当者にメール等で別途案内する場合があります。

## ■ お問い合わせ先

### FDプログラム

### SDプログラム

#### 徳島大学

〒770-8501  
徳島県徳島市新蔵町2丁目24  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/>

#### 学務部教育支援課教育企画室

TEL:088-656-7686 FAX:088-656-7688  
E-mail:kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

#### 総務部人事課SD担当

TEL:088-633-7017 FAX:088-633-7474  
E-mail:jinjhosak@tokushima-u.ac.jp

#### 香川大学

〒760-8521  
香川県高松市幸町1-1  
<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

#### 教育・学生支援室修学支援グループ

TEL:087-832-1153 FAX:087-832-1155  
E-mail:gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

#### 経営管理室給与福利グループ

TEL:087-832-1044 FAX:087-832-1054  
E-mail:jinsenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

#### 愛媛大学

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
<https://www.ehime-u.ac.jp/>

#### 教育学生支援部教育企画課能力開発室

TEL:089-927-8922 FAX:089-927-8922  
E-mail:opar@stu.ehime-u.ac.jp

#### 教育学生支援部教育企画課SD担当

TEL:089-927-9154 FAX:089-927-8100  
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

#### 高知大学

〒780-8520  
高知県高知市曙町二丁目5-1  
<http://www.kochi-u.ac.jp/>

#### 学務部学務課

TEL:088-844-8144 FAX:088-844-8367  
E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

#### 総務部人事課SD担当

TEL:088-844-8584 FAX:088-844-8119  
E-mail:kj08@kochi-u.ac.jp

#### SPOD事務局

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
[https://www.spod.ehime-u.ac.jp](https://www.spod.ehime-u.ac.jp/)

#### 愛媛大学教育学生支援部教育企画課

TEL:089-927-9154 FAX:089-927-8100  
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

## ■ 研修料について(SPOD加盟校外の方へ)

SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様は研修プログラムを受講する場合には、研修料を徴収させていただきます。研修料については下の表をご参照ください。ただし、下の表に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は、委託費の総額を受講定員で除した金額とします。

**SPOD加盟校の  
教職員は無料!**

区分	2時間以下のプログラム	4時間以下のプログラム	1日で終了するプログラム	1泊2日のプログラム	2泊3日以上プログラム	SPODフォーラム (受講時間、日数にかかわらず)
研修料	2,000円	4,000円	6,000円	12,000円	18,000円	10,000円